

くにとうろくゆうけいぶんかざい
国登録有形文化財

させぼしみんぶんか
佐世保市民文化ホール
きゅうかいぐんさせぼちんじゅふがいせんきねんかん
(旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館)



改修後の外観（平成 28 年）

この建物は第一次大戦の凱旋記念館として大正12年（1923）に建設されました。壁には煉瓦、内部列柱には鉄筋コンクリートが用いられており、古典主義的デザインの外観が特徴的です。

戦後は米軍が使用していましたが、昭和52年（1977）に返還され、佐世保市が昭和57年（1982）に市民文化ホールとして整備し、以降は市民の文化活動の場となっています。

平成9年（1997）には、佐世保市街地に残る近代建築の遺構として評価され、国の登録有形文化財となりました。

【見学のお知らせ】

スタッフによるガイドを行います。催事の際は見学できない場合がありますので、事前連絡をお願いします。 ※外観はご自由にご見学ください。

◆問合せ・見学申し込み先

佐世保市民文化ホール指定管理者 TEL (0956) 25-8192



創建当時の演台

改修前の外観（平成 17 年）



創建当時の外観（大正 12 年頃）



改修工事について

佐世保市民文化ホールを健全に保ち、文化施設として活用しながら、文化財として後世に引き継ぐため、国の協力を得て、構造補強を中心とした改修工事を実施しました。事業費は4億6千9百万円、期間は平成26年（2014）3月から平成27年（2015）11月まででした。



改修前の内部（平成 17 年）

改修工事では、耐震のため、鉄骨等による補強を行い、コンクリート壁を増やしました。大改修でしたが、創建当時の天井など、後世に残すべき部分は出来るだけ保存してあります。

また、歴史ある建物の雰囲気損なわないことにも重点をおき、外壁に色を加える再塗装はしませんでした。

さらに、これまで見る事ができなかった創建当時のステージなども一部見学ができるようになっています。

文化財建造物でありながら、貸ホールとして利用できる貴重な建造物です。大切にご活用ください。



改修後の内部（平成 28 年）